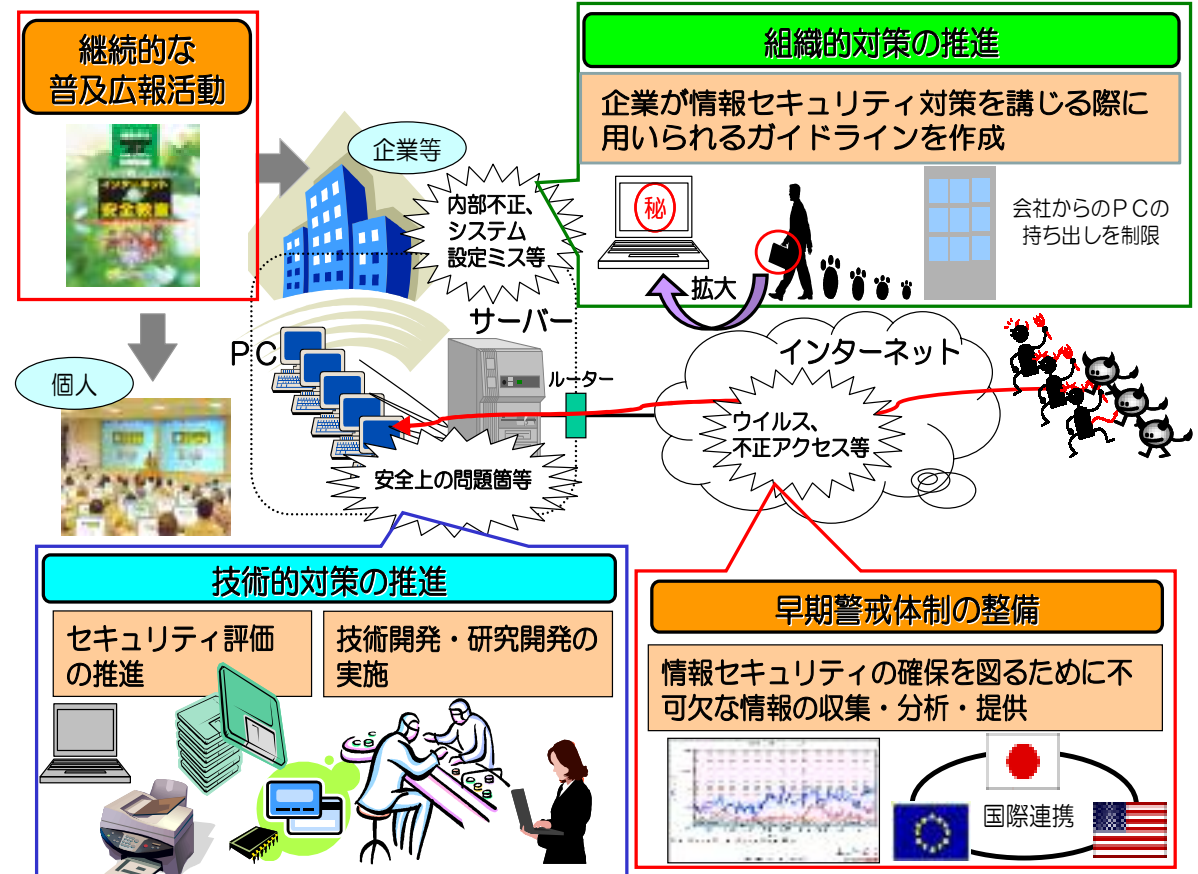


## 事業の目的

ITを利用する環境には、ソフトウェア等が持つ安全性に関する弱点を狙ったコンピュータウイルスや不正アクセスなどの脅威が常に存在。  
新しい情報セキュリティに係る脅威は日々発生し、脅威の「見えない化」が進むとともに、金銭・機密情報取得などを目的とした脅威も増加するなど、攻撃側の手法もさらに複雑化・高度化。  
このため、新たな情報セキュリティに係る研究開発を実施するなど、情報セキュリティに係る脅威による被害の抑制・未然防止を図る。

## 事業の内容

コンピュータウイルス等の脅威に迅速に対応するための体制を整備  
国内外の経済社会システムの構造の多面的変化に迅速かつ適切に対応していくため、「情報セキュリティ分析ラボラトリー」を設置し、データ収集・分析等を実施  
企業が情報セキュリティ対策を実施する際に用いられる基準やガイダンスの整備  
IT関連製品のセキュリティ機能品質をチェックする評価・認証制度を推進  
従来の技術にとらわれない認証技術等の新たな情報セキュリティに係る技術開発を実施  
組込システムの心臓部であるシステムLSIチップのセキュリティ評価認証体制を構築  
一般利用者等に対して、情報セキュリティ対策に関する正しい認識と理解を醸成するための普及啓発活動を実施



キーワード	取り組みと成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・異分野の関連技術者の協同作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムLSIの開発設計段階におけるソフトウェア設計とプロセッサに代表されるハードの共通インターフェイス仕様の策定・検証技術を開発</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界との連携した人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携人材育成事業を実施 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究と社会化施策の一体的取組み</li> <li>・ITを支えるNW及びセキュリティ技術</li> <li>・国民がITの恩恵を実感できる施策の展開</li> <li>・社会とITを繋ぐインターフェース技術開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・革新的技術開発の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効なPDCAサイクル構築のための見直しプロセスの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算要求に際して事前評価を行っている他、中間評価、事後評価等の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より実効性の高い国際標準化活動の体制、活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データセンタの国際評価指標の策定 等</li> </ul>